



よいことの  
ために手を  
取りあおう

国際ロータリー第2610地区

南砺ロータリークラブ

クラブ会報

な なんと



NO. 2691

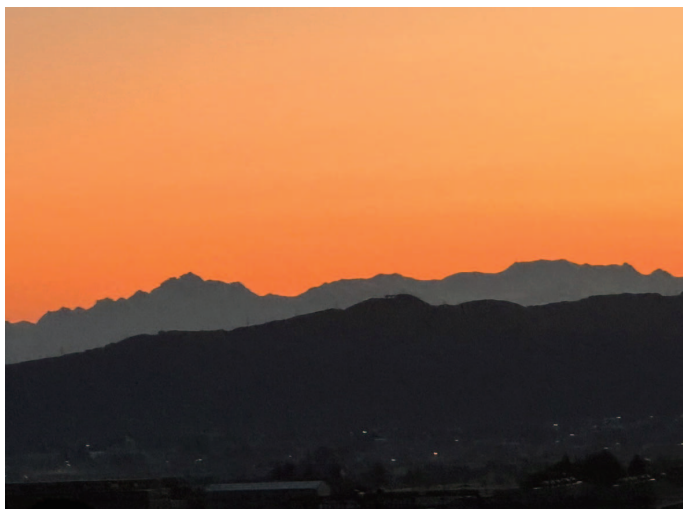
URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail [office@nanto-rc.jp](mailto:office@nanto-rc.jp)

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/福光会館2Fサークルルーム1 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 〆〆〆光納 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

夜明け前の立山連峰

尾山裕和委員撮影



第2752回例会 令和7年11月18日(火) 雨6℃

◆点 鐘 12:30 石崎和三会長  
◆司 会 安居利浩SAA  
◆ソング 「奉仕の理想」



◆会長の時間 石崎和三会長

早いもので、数える程の年内例会となりました。すごく重たいもの背負ったような気がしたんですけど、あっという間に時間が過ぎてしまう、イベントがあっという間に終わってしまう感じがするんですけど、来年、どっかで私ももっと盛り上がる男にならないとダメだなと思ってます。自分の中に納得しない別の人がいるんです。さっきも「勉強行きますよ」って言われて、行こうかなと一瞬思ったんですけど、時間が経ってからじわじわっとのしかかってくる感じがいたします。

今日はクリスマスが近いということで、クリスマスソングでも歌えたらいいかなと思ったんですけど、そういう時期なんでね、昨日私、家内と温泉行ってきたんですけど、どこ行っても紅葉なんですね、柿も紅葉。世の中、熊と紅葉が今、城端もすごいね、熊さんが。こんなことって近年ないんじゃないですかね。私、外に出るのが怖いんです。観音町でも行こうかなと思うと、足がすくんでしまうんですね。怖いやら、怖いもの見たさで出足するんですけど、私も。ただ、ここにまだ事件が起きてないからみんな大騒ぎしないんだと思うけど、事件の内容を見たら、子供さんの足を噛みちぎって、ほとんど存在しなかったというか、そんな悲惨な事故の様子を聞くと、「いや、これは大変なことだな」と思うんだけど、自分のことになると「いや、俺んとこには来んわ」って。そのうち来ますよ、笑ってる場合じゃない。その時、クマだったなと思って。ということで、今日もお後がよろしいようで、勉強しましょう。以上です。ありがとうございました。

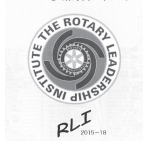
◆理事会報告 野村 守幹事

①クリスマス例会について 館田コーナーで出欠をつけてください。

②11月29日に行われますロータリーリーダーシップ研究会、いわゆるRLIの申し込みについて...

吉田美花さん、藤井一哉さん、大島孝さん、今、3名の参加をいただいております。また、安居利浩さんも急遽参戦で、一気に0人から今日4人になりました。宜しくお願いします。

ロータリー・リーダーシップ研究会  
"Be Seers (control the future)"  
RLI参加者テキスト



## ◆委員会報告

\*ユース・米山委員会 久患龍三副委員長(かみやう)

今、スカーレットは2軒目のホストファミリー、砺波の山本さんのところにお世話になっております。懸案でありました4軒目のホストファミリーが決まりました。3軒目は宮田さん、小矢部の方で、4軒目は谷口央利子さん、旧姓大西央利子さんといえ皆さん思い出さかと思ますけども、大西正芳さんの娘さんで、2016、17年にアメリカに交換留学生で派遣されていた方で、石崎雄世さんの奥さんから声をかけて戴きましたら、快く受けて戴きまして、本当に喜んでおります。

\*親睦活動委員会 鮫島智爾委員長

12月23日クリスマス家族会を開きます。23日の18時から20時で場所が桜ヶ池クアガーデン、会費は会員9,000円。家族中学生以上が4,000円、小学生以下が2,000円となっております。送迎バスも出ます。福光駅が17時20分、城端駅17時35分です。皆さんとご家族の方の参加をお待ちしております。



★ニコニコボックス 11/18 山田孝副委員長

吉田美君 11月10日、干羽レディース大会白山7番でホールインワンしてしまいました。去年に引き続き2回目です。

大島君 例会に参加出来るのが私にはうれしい事です。

木村君 干柿作業の最盛期で疲れます。谷村さんの卓話楽しみにしています。

石崎雄君 今日、タイヤ交換してきました。みなさん冬の運転には気をつけましょう。

榊君 東山が白くなっています。いよいよ雪の降る季節になりました。スキー場にだけ降ってほしいと思います。

尾山君 紅葉も末期になり、もはやウィンターシーズン。スタッドレスタイヤ交換はお早めにどうぞ。

石崎和君 いよいよ世界的大イベントX'masがやって来ます。

久患君 急に寒くなってきましたね。冬支度急がねば!!あと何回ラウンドできるかなあ〜。ホールインワンします!!!

古瀬君 谷村さん卓話宜しくお願いします。安居さん横浜お疲れ様です。又、話聞けるの楽しみにしています。

藤井君 一段と寒くなりました。一昨日五箇山に紅葉を観に行ってきました。今年は本当に美しかったです。

鮫島君 雪が降りそうなくらい寒いです。

川合君 結婚祝いありがとう。

山田清君 すみません。早退します。

木勢君 早退します。



本日のプログラム 12月2日(火) 第2753回例会  
卓 話

担 当 古瀬喜八郎会員

◆出席報告 吉田美花出席委員長

会員数	11月18日出席率	10月28日修正率
44 (免除1)	72.73% (出32)	70.45% (出31メーク4)

※補欠:大島孝君、尾山裕和君、川合声一君、久患龍三君。

次回の予定 12月9日(火) 第2754回例会  
インターアクトセミナー

担当 I A委員会 高瀬和紀委員長

四つのテスト  
言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



公共イメージセミナーということで、当初はネットやSNSの使い方を再確認してお話しようと思っていましたが、十分に勉強できませんでしたので、7月26日に金沢の地場産業振興センターで開かれた国際ロータリー第2610地区2025 - 26年度クラブ公共イメージ（広報）委員長会議で聞いてきたこと、そして感じたことを中心にお話したいと思います。

まず、地区公共イメージ委員長の中村英一さんからの連絡事項です。地区HPをスマホやPCのお気に入り登録し、最低月1回は閲覧してほしいこと、またMyRotaryやJapanPortalSiteへも地区HP経由で入るようにしてほしいという点。さらに、SNS（Facebook・Instagram）にクラブページを開設し、地区SNSをフォローし、クラブ活動を積極的に投稿してほしいとのこと。

#### ●皆様にお願いしたいこと

- ・今すぐ出来ることから始めましょう！
- ・スマホで地区HPを開きましょう（「2610地区」などと検索）
- ・地区HPをパソコンやスマホのお気に入りなどに追加して、最低月1回（ガバナー月信が発信される月初など）は閲覧しましょう
- ・My RotaryやJAPAN Portal Siteを開く際も地区HPから入りましょう
- ・SNS（FacebookやInstagramなど）にクラブのページを開設しましょう
- ・地区のSNSページをフォローしましょう
- ・クラブの活動（例会や奉仕活動）をSNSで積極的に発信（投稿）しましょう
- ・その投稿に#（ハッシュタグ）やメンション付けをして、地区HPの「最新SNS投稿」のコーナーに掲載されるようにしましょう（個人の投稿も可能）

投稿の際には、インスタでは「#国際ロータリー第2610地区」「#第2610地区」「#rotary\_international\_district2610」のいずれかのハッシュタグを、Facebookでは必ず「@rotary2610」のメンションを半角でつけること。それが正しく付けば、地区HPの「最新SNS投稿」に自動で掲載される仕組みです。正しいメンションの入れ方や、青文字で表示されているかどうかで成功判定できることなど、細かな手順も紹介されました。

フォロワー数は7月時点で169名。今年度目標は400名とのことで、地区Facebookページのフォローをぜひお願いしたいというお話でした。

次に、ロータリーブランドイメージの確立について。自動車メーカーなどのロゴを見ると一瞬でそのイメージが浮かぶように、ロータリーの「誇りのシンボル」も、本来は「正直・奉仕・世界平和・ポリオ撲滅」といった価値を伝えるものです。公共イメージとは、クラブの活動や会員の行動によって形づくられるブランドであり、その一貫した発信のためにロゴがあります。奉仕活動でのぼりやパーカーを使う際も、ロゴを正しく使うことで信頼の蓄積につながります。

ロゴ使用のルールとして、活動時には必ずクラブ名入りの公式ロゴを使用し、歯車単体で使わないこと、古いロゴを使わないこと、周囲の余白を確保することなどが説明されました。MyRotaryの「ブランドリソースセンター」でクラブロゴは簡単に作ることができ、名刺や封筒、週報など、できるところから順に新しいロゴに切り替えていってほしいとのこと。

続いて、会議前に実施されたアンケートの紹介があり、公共イメージ向上につながった事例が「ある」と答えたクラブが約6割。最も効果がある媒体として新聞が30.4%、HPとFacebookがそれぞれ15.2%、Instagramが10.9%と続きます。

これから《各クラブの好事例》が紹介されました。

◆小矢部RC「こども夢プロジェクト」では、人口減少と若者の定着を課題に、子どもが夢を描ける講演会を毎年開催。市内小学校6校の6年生を対象に、広く市民にも公開し新聞チラシも活用されていました。

◆高岡万葉RCでは、地域清掃活動が富山テレビに取り上げられたほか、少年ティーボール大会の支援や児童養護施設の園児らとの研修旅行が新聞で紹介されるなど、積極的に取材依頼を行った結果が実を結んでいました。



◆氷見RCの事例では、ウクライナ避難者へのピーツ提供がNHKや各紙に取り上げられたこと、さらに震災関連事業として芸術文化財団とコンサートを共催し、防災学習の機会につながったことが紹介されました。いずれも“思いやりそのものがストーリーになる”好例でした。

◆内浦RCは、50周年記念事業で交通安全看板を新調する際、小中学生から標語を募集し、採用者の名前を許可を得て新聞に掲載してもらった工夫により、家族や地域にも喜ばれる広報となったという例を紹介しました。

◆白山RCの弓道大会の話は非常に感動的でした。交換留学生のエラさんが大会に出られなくなったため、高校弓道部と協力し独自大会を開催。部員が主体となり、メディアにもストーリー性を強調して依頼したところ、大会前後に新聞で大きく取り上げられ、涙に包まれる大会になりました。

◆金沢北RCは、能登半島地震復興応援のジュニアサッカー大会を開催。16チーム参加、タオル配布、氷の準備などで子どもたちを応援。義援金の贈呈も行い、北国新聞やInstagramにより広く認知が高まりました。

◆金沢百万石RCは、HPやFacebook、LINEを積極活用し、オープンロータリーを10年以上継続。卓話ではインフルエンサーの会員がSNS活用術をレクチャーし、映える写真の撮り方など会員発信の後押しにつながったということです。

これらを聞いて私が感じたことは、公共イメージ向上は会員増強にも有効であり、各クラブが社会のニーズに敏感で、結果として物語が生まれているという点です。ロータリーらしい“陰徳”の精神が随所に見られ、公共イメージ委員は少し引いた視点で物語を見いだす役割があるのではないかと感じました。

#### 《各クラブの好事例－スライドより》

##### ◆小矢部RCこども夢プロジェクト

小矢部市の問題・・・人口減少、少子化、若者が帰ってこない子供達が故郷を愛し世界に羽ばたいてほしいという思いと共に、大人になってから小矢部市を守り、力を発揮して貰えるきっかけづくりが出来ないか、と委員会を立ち上げました。

##### ◆高岡万葉RC・・・地域貢献事業の清掃活動が富山テレビに取り上げられた。

・青年奉仕事業として少年達のティーボール大会の支援がBBTで取り上げられた。白いジャンパーを着てサポート。  
・社会福祉事業として児童養護施設の園児、職員、ロータリーメンバー計50名ほどで東京方面へ1泊2日の研修旅行、新聞に取り上げてもらった。  
※昨年度はマスコミに対して積極的に取材依頼を行いました。

##### ◆氷見RC復興イベントを実施。コンサート、防災グッズなどのパネル展示、ケーブルテレビ、新聞などで様子が紹介された。ウクライナからの避難者にピーツ（根菜）を提供したことがNHKのニュースに取り上げられた。

◆内浦RC・・・新聞に掲載依頼の時工夫をする事で変わった事があったので紹介します。交通安全看板を50周年記念事業で新調。旧内浦町内の小中学生計170名から交通安全、能登半島地震の復興の標語を募集。採用者2名の名前を掲載して貰うことでロータリーメンバーだけでなく家族の方にも喜んで頂けた。

◆白山RC・・・白山RCで受け入れている交換留学生の方が出た弓道大会に地区の行事が重なって出られなくなりました。新たな弓道大会の開催を高校と企画メディア4社に依頼する時、この大会には素敵な物語がありますよ、とストーリー性を重視しアピールすることで新聞には大きく取り上げられた。

◆金沢北RC・・・子供達の元気や活力が能登半島地震からの復興を一番後押しするのではないかと考え、ジュニアサッカー大会を開催。RC会員はマークの入ったポロシャツを着ていく事で大会中、表彰式でアピールできた。北国新聞にとりあげてもらった。またInstagramも利用した。

◆金沢百万石RC・・・ホテル日航金沢でオープンロータリーインフルエンサーの会員がSNSにどう関わっていくか、といった活用方を卓話用意したスイーツの映える写真の撮り方をレクチャー。ロータリー会員のSNS発信を後押しする事につながり、飲食店のゲストの方で自身のInstagramに活用したいという感想も聞かれた。

公共イメージコーディネーターの神野さんの講演では、日々の例会の会話や励ましの言葉にも、仲間作りにつながるストーリーが潜んでいると語られ、「全員がロータリー広報である」という言葉が心に残りました。ロータリー財団の父アーチ・C・クラフ氏の「ロータリーの素晴らしさを語ることが最も重要」という言葉も紹介され、私たち一人一人が世界に希望を生むストーリーの語り手であると締めくくられました。

最後に個人的な話ですが、昨年RLIに参加した際、隣の方がずっと「つらい」「寒い」とつぶやいておられました。これから冬に向けて、皆さんは温かい格好で気楽に参加されたら良いと思います。

以上です。ありがとうございました。

（今回の会報担当：藤井一哉／AIによる要約）